

ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●ワクチン接種者13,400人の個人情報紛失…USBメモリー見つからず

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2310/10/news082.html>

<http://www.town.noheji.aomori.jp/application/files/7216/9647/7145/USB.pdf>



このニュースをザックリ言うと…

- 10月5日(日本時間)、青森県上北郡野辺地町より、**同町民の個人情報を保存したUSBメモリーを紛失したと発表**されました。

- USBメモリーに保存されていたのは、**新型コロナワクチン接種者約13,400人分(転出・死亡者含む)の個人情報(住所・氏名・生年月日・性別・接種履歴等)**とされています。

- 8月30日夕方にある職員が当該USBメモリーを保管場所に戻して以降、所在が不明であることが翌31日に発覚、以降も施設や公用車、また職員の自宅・自家用車等も検索したものの、発見されていないとのこと。

- 同町では、使用管理簿を用いていなかった、鍵のかからない机引き出しで保管していた等、**適切な管理を行っていなかったことを紛失の原因**としており、**再発防止策**としてその点の改善を行う他、**USBメモリーは一時記憶媒体として使用し、そのうち保存データを削除**すること、**暗号化対応型のメモリーを使用**すること、指定した業務以外での使用を禁止すること等を挙げています。

AUS便りからの所感等

- USBメモリー紛失事案は、近年に至っても、2022年6月に**尼崎市全市民約46万人分の個人情報**を保存したUSBメモリーが**一時紛失**(AUS便り 2022/06/28号参照)、2023年2月~3月に**複数の大学**で教員が**USBメモリーを紛失ないし盗難**にあった(同 2023/03/14号参照)等の事例が報告されています。

- USBメモリーの**接続によってPCがマルウェアに感染**、その後に接続した**別のUSBメモリーにも伝播**するといったケースや、**ハードウェアを物理的に破壊するような仕掛け**を持つものも知られている昨今、他者との情報の受け渡しや、組織内での情報の持ち運びの手段としても、**常用するには非常にリスクが高いもの**と言えます。

- **オフライン・オンプレミスでのみ**の使用に拘ることなく、情報のやり取り時あるいは保存時においても**オンラインストレージの利用等を柔軟に検討**することは、**より安全な情報の取り扱い**に繋がることでしょう。



公用USBメモリ紛失 コロナワクチン接種者1万3000人の情報入り 青森県野辺地町

© 2023年10月10日 11時38分 公開

[ITmedia]

青森県野辺地町は10月5日、1万3400人分の個人情報が入ったUSBメモリを紛失したと発表した。職員が利用のために保管場所を確認したところ、USBメモリがなく、そのまま同日まで見つからないという。

USBメモリに保存していたのは、同町からの転出者・死亡者を含む新型コロナウイルスワクチン接種者1万3400人分の住所、氏名、生年月日、性別、接種履歴など。5日までに、一連の情報が悪用された例は確認していないという。

2 漏えいのおそれのある個人情報

新型コロナワクチン接種者等約13,400人分(転出、死亡者含む。)の、住所、氏名、生年月日、性別、接種履歴等

USBメモリに保存していた情報

● 9月度フィッシング報告件数は117,033件、7月度と同水準

<https://www.antiphishing.jp/report/monthly/202309.html>

このニュースをザックリ言うと…

- 10月5日(日本時間)、[フィッシング対策協議会](#)より、9月に寄せられたフィッシング報告状況が発表されました。
- 9月度の報告件数は117,033件で、8月度(<https://www.antiphishing.jp/report/monthly/202308.html>)の99,585件から17,448件増加し、7月度の117,024件とほぼ同水準となっています。
- フィッシングサイトのURL件数は14,934件で8月度(20,396件)から5,462件減少、悪用されたブランド件数も80件で8月度(91件)から11件減少となっています。
- 最も多く悪用されたブランドは前月同様Amazonで割合は約40.8%(前月度36.1%)、以下ETC利用照会サービス・三井住友カード・Apple・マイナポイント事務局を合わせた5ブランドで全体の約71.3%、また1,000件以上の報告があった17ブランドで全体の約93.8%を占めたとしています。

AUS便りからの所感

- 多く悪用されたブランドのうち、ETCはシルバーウィーク、Appleは新製品発表、マイナポイントは受取申請の期限が月末だったことに合わせて多く発生が報告されたとのこと。

- 同協議会では4月以降、SMSでのフィッシング(スミッシング)、特に金融機関系・Amazonあるいはモバイルキャリアを騙り不正なスマホアプリのインストールへと誘導するものについて継続的に注意を呼び掛けており、通常はそのようなSMSを受信してもURLをタップ等せずに削除することが望ましいですが、身に覚えがないタイミングで認証コード通知SMSが送信された場合、アカウントへの不正ログインが行われている可能性があるため、パスワード変更や決済サービスの使用履歴の確認を行うよう推奨されています。

- 一方、有名企業・ブランドではない一般企業からも、自社のドメインを騙ったなりすましメールが送信された、もしくは着信した、という相談が増えているとされ、取引相手等を保護する意味でも、「事業者のみならず」の節を参考に、自組織のドメイン名においてSPF・DMARCといった対策機構の採用等を是非とも検討すべきです。



● iPhoneアプリストアに「スイカゲーム」？ 開発元が偽アプリに警告

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2310/04/news108.html>

https://twitter.com/aladdin_x/status/1708674807766933998

このニュースをザックリ言うと…

- 10月2日(日本時間)、Nintendo Switch向けゲーム「スイカゲーム」開発元のAladdin X社より、スイカゲームに酷似したiOS向けアプリを確認したとして、Twitter(現:X)上で注意喚起がなされています。

- 対象とみられるアプリは、Apple公式のApp Storeで「すいかゲーム」というタイトルで公開されており、当初は本物の画像等を流用していたとみられています。

- 同社ではAppleに当該アプリについて報告済みで、「スイカゲーム」はスマートフォン向けに開発していないとしています。

AUS便りからの所感

- 当該アプリはレビューにおいても偽物との指摘を多数受け、公式と誤認識させるような画像等は差し替えられながら、10月11日時点でもApp Storeで公開されていますが、広告が非常に多く表示されるという問題を除けば、現時点でデバイス上で不正行為を行っているという報告はないことが、依然としてアプリストアから削除されていない理由と推測されます。

- 一方で、公式のアプリストアであっても、デバイス上の情報を奪取する等の不正行為を行うアプリがアップロードされ、短期間で削除されるとしてもその間に多くのダウンロードが行われ、被害が発生するケースも散見されます。

- ともあれ、よりマルウェア等のリスクが懸念されるような非公式の場所からのスマホアプリのダウンロード・インストールは避けること、公式アプリストア(AndroidであればGoogle Playストアあるいは端末メーカー提供のストア)からのみインストールするとしても、事前にストアでのレビュー・SNS等での評判を参考とし、実績のあるアプリをインストールすることを心掛けましょう。



ネットで大人気の「スイカゲーム」、iPhoneで“偽物”アプリ出回る 開発元が注意喚起

© 2023年10月04日 12時45分 公開

[岸澤隆徳, ITmedia]

Nintendo Switch用ソフト「スイカゲーム」の開発元であるAladdin Xは10月2日、スイカゲームに酷似したiOSアプリを確認したとして注意喚起した。製品の画像や説明文などを流用しているという。

同社が問題視したアプリは、ONE MOBILE LTDを名乗るパブリッシャーが10月1日に公開した「すいかゲーム」。編集部で確認したところ、現在は説明文は変更したようだが、特徴的な果物のデザインは変わっていない。

Aladdin XはAppStoreを運営するAppleに対して報告済みで、アプリの削除を求めているという。しかし4日正午時点では依然公開中。App Storeのランキングでは「カジュアル」カテゴリーの無料ゲーム1位に入っている。

